

シルバー人材センターをご存知ですか？

いながわ 特派員報告



山本のゆり



田野香織

今月号から私たちが担当します



年配の人々の職業紹介所？人材派遣会社？いいえちょっと違うようです。シルバー人材センターとは、就業を通じて高齢者の人々と地域社会を結ぶ公益法人、いわば社会参加へのサポート団体なのです。今回は、社会福祉会館に拠点をおく「猪名川町シルバー人材センター」の取材に行ってきました！

生きがいの充実を！

まずは事務局で、中尾道雄さんにお話を伺いました。



中尾道雄さん

◆**シルバー人材センターとはどんな組織ですか？**
「高齢者の、就業を通じての社会参加や生きがいづくりをサポートする組織です。全国各地にあります。猪名川町には平成8年に設立されました。」

◆**どんな方々が対象ですか？**
「町内にお住まいの60歳以上の人を対象に会員を募集しています。」

◆**会社などを引退しても、まだまだ働く意欲や社会参加の機会をお求めの人はたくさん**
現在約330人の登録があり、町内の事業者や一般のご家庭、公共団体などからお仕事の依頼を受け、その時の会員さんの状況に応じて就業いただいています。」

おられますものね。具体的にどんな仕事の依頼がありますか？

「公園、町道の清掃や草取り、チラシ配布などがあります。広報いながわの配布も請け負っています。他にもご家庭の障子貼りや窓ふき、庭木の剪定なども。去年のクリスマスには、サンタに扮装して欲しいという依頼もありましたよ。」

◆**それは楽しい！そんな仕事を体験したら、もう自慢したくなりますね。会員同士の交流はありますか？**
「同好会があります。例えば囲碁の会、ゴルフの会、カラオケの会など。そのほか、

会員さん向けに様々な講習会を開いています。」

◆**植木の剪定やパントリー教室、マナー教室など。**
同じ紫合にある消防本部に依頼しての救命講習会を開いています。」

講習や交通安全講習なども行っています。」

◆**生きがいの充実という目的の、大きな手段として就業をサポートされているのですね。これからの展望は？**
「就業場所も会員もこれからもっと増やしていきたいと考えています。将来的にはたとえば子育て支援事業にも取り組んでいきたいです。」

◆**この福祉会館のホールを使い、子どもを預かりむかし遊びを教えたり、他とは違うシルバー世代ならではの子育て支援があると思うのです。」**
◆**わくわくしますね！実現を心待ちにしています。**



問合せ シルバー人材センター (☎ 766 - 8686)

シルバーの活動は自由で面白い

失敗を恐れずに挑戦しよう

先日、会員でシルバー人材センターの理事を務める山本正信さんの、「広報いながわ」の配布に同行してお話を伺いました。5年前に相生市から引越してこられた山本さん、奥様の「入って、みんなと仲良くしたい。」との勧めもあり会員に。明るく行動的なお人柄で、今ではセンターになくてはならない存在です。理事の他にも企画広報や

機関紙の編集、会員さん同士の繋がりや強めるための「地域班」の再編成と活躍。「楽しすぎるわ(笑)。シルバーの活動はやる気になれば自由で面白い。僕は失敗を恐れず挑戦しようと思いたい。」

わからなくても色々挑戦しようって。輪が広がって、色々な人と仲良くなれるよ。」
とつても前向きで、元気な山本さん。ポスティングの途中で知り合った人との立ち話も楽しみのひとつだとか。



「竹グループ」は、町内の竹林を整備する、15人から成るチームです。伐採現場で対応してくれた渡辺さんは、「竹は繁殖力の強い植物なので、定期的に整備しないと竹林はすぐ荒れてしまいます。」

猪名川町は里山を再生し、守っていくという取り組みに力を入れています。里山には竹やぶがとても多く、竹林整備には町からの支援もあります。(14ページ参照)。

私たちは、その整備を請け負っていますので、竹林をお持ちの人は、センターまで連絡ください。」とのこと。この日の依頼は、内馬場にあるお寺。竹グループは7人体制で作業を進めます。

や雑木をダイナミックに切り倒し、枝葉は粉碎して堆肥に、太い幹は竹炭、竹細工や異世代交流で使う子どものおもちゃなどに再利用するそうです。

きれいになったと言われるのが嬉しい

勇壮な自然を相手に



◆**「量が多いから、全部再利用はできませんが。もう町内40箇所くらいの竹林をチームで整備しましたよ。」**
◆**渡辺さん、会員になった動機は？**
「まあなんか、60歳すぎれば、多少なりとも地域社会に貢献したいという気持ちがあるじゃないですか。竹グループはチームワークもよくて、のびのび楽しくやってます。」

◆**チームリーダーの八木さん、会員になってよかったことは？**
「みんなが(整備の後)キレイ

になったなあーって言うってくれるのが嬉しいよ。」
渡辺さん、すかさず「それが一番ですよ。」

◆**会員歴3年目の内田さんは？**
「仕事の後の(酒が美味しい)！」

編集後記

会員の皆さんはどなたにもこやかで、澁刺(しぶさ)と仕事をされています。【山本】今月号より特派員になりました。人生の先輩の輝く姿は刺激的です。将来私も仲間に入れてください。【田野】特派員3年目を迎えました。これからも町のホットニュースをお伝えしていきます。

ふおと にゅ〜す

ご利用ください
悠久広場がオープンしました



▲3月30日、悠久広場（銀山区）の竣工式を開催しました。
悠久広場は、明治時代に操業された「堀家製錬所」跡を学習の場として整備したものです。
広場では、発掘調査成果に基づき、地上に残存するレンガ構造物の前面に、出土したレンガ敷遺構を復元して展示しています。ぜひ貴重な遺跡をご覧ください。



新しい通学路の開通をみんなで祝いました

▲4月5日、通学路開通式が開催され、松尾台小学校・中谷中学校区の児童・生徒とその保護者をはじめ、地元・教育・見守り・防犯などの関係者約100人が開通を祝いました。
通学路の延長は1280mで、阿古谷小学校の松尾台小学校への統合に伴い、児童・生徒が安全に通学できるよう整備されたものです。



349人の新1年生がドキドキの入学式

4月9日、町内の6小学校で入学式が行われ、総数349人の新1年生が小学生の仲間入りをしました。

最も多い145人の新入生が入学したつつじが丘小学校では、児童たちは机や椅子の感触を確かめながら、担任の先生に名前を呼ばれて元気な声で返事をしました。



2,800人が優雅なお雛飾りを鑑賞

▲4月3〜7日まで、国の登録有形文化財の静思館において、「静思館おひなまつり」が開催され、町内や近隣市から多数の見学者が雅な風情を楽しみました。
屋根の茅を葺き替え、装いも新たな静思館では、明治時代から現在までのさまざまな年代の雛人形をはじめ、創作雛飾りや段飾りの雛人形など、大小あわせて約700点が展示されました。



道の駅春まつり 11,000人で賑わう



▲4月13・14日、道の駅で春まつりが開催され、約11,000人が訪れました。

まつりでは、おなじみの手打ち十割そばやいなぼう焼き、海産物の出張販売も行われました。また、14日には猪名川源流太鼓が演奏し、勇壮で迫力満点の太鼓の音に聴衆は魅了されました。

春の交通安全運動で街頭啓発

▲4月6〜15日までの10日間、春の全国交通安全運動が実施されました。5日には、日生中央駅前広場での街頭啓発と、県道川西三田線で啓発物の配布が行われました。
春は、新入学児童や行楽に出かける機会が増えるため、皆さんの思いやりのある行動で交通事故の防止を心がけましょう。

